

## 蔵歯会（歯学部同窓会）

会長 笠原 信治      かさはら しんじ

蔵歯会では、令和2年3月に歯学部歯学科38期生41名、口腔保健学科10期生14名の卒業生を迎え入れ、歯学部卒業生の総数は2,155名（歯学科2,008名、口腔保健学科147名）となりました。歯学科卒業生の多くは歯科医院開業医や勤務医として地域医療に貢献しています。また、全国の大学や厚生労働省関係の行政で活躍する会員も多く、本学歯学部8名をはじめ、岡山大学2名、大阪大学2名、高知大学、鶴見大学、昭和大学、獨協医科大学、新潟大学、鳥取大学、金沢大学、愛媛大学にそれぞれ1名、並びに徳島文理大学4名、高知学園短期大学1名の25名が教授となって活躍しています。口腔保健学科の卒業生は、歯科衛生士と社会福祉士のライセンスを活かして、大学、行政、病院や歯科医院、大手企業などの重要なポストに就いて頑張っています。



蔵歯会は平成2年に創立され、30年を迎えました。この間、徳島大学は国立大学から国立大学法人へ移行し、また歯科医療界は、口腔の健康が全身の健康に関連し、命を支える歯科医療として他の職種と連携した超高齢社会への対応が求められ、キュア中心からケア中心の時代へと転換してきました。そして、インターネットの普及により、卒業生の意識や同窓会に求められるものも大きく変化してきたと感じます。新型コロナウイルスの影響はしばらく続き、デジタル化やオンラインでの交流促進は急加速することと思います。今年度の蔵歯会本部では、庶務渉外と福利厚生を総務として、一括管理で従来の業務を効率化し、新たに企画情報を設置することにより、デジタル化に対応した同窓生の交流を図るとともに、全国各地の15支部と連携して、後輩学生達のために大学と社会の懸け橋になれる組織運営を考えています。

蔵歯会ホームページ <http://www.tokudai-d.net/>